

平成29年名古屋港の港勢

平成29年（2017年）の名古屋港の港勢は、入港船舶総トン数は前年実績を下回りましたが、入港船舶隻数は前年並みとなり、総取扱貨物量は前年実績を上回りました。

1 入港船舶

入港隻数は32,948隻と前年並みとなりましたが、総トン数は2億2,989万トン（前年比3.6%減）と前年実績を下回りました。

○ 外航船舶

入港隻数は7,830隻（同3.2%減）、総トン数は1億9,128万トン（同4.5%減）とともに前年実績を下回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、入港隻数は3,990隻（同2.2%減）、総トン数は8,815万トン（同6.8%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は、25,118隻（同1.0%増）、総トン数が3,861万トン（同1.1%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

平成29年の総取扱貨物量は、1億9,597万トン（前年比1.4%増）と前年実績を上回り、平成14年から16年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貨物取扱量については、1億2,788万トン（同0.5%減）と前年実績を下回りましたが、平成12年から18年連続で全国1位になりました。

○ 外貨物

輸出貨物量は、5,266万トン（同0.1%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割近くを占めています。国・地域別では1位中国722万トン、2位アメリカ414万トン、3位アラブ首長国398万トン、4位オーストラリア273万トン、5位タイ246万トンです。

輸入貨物量は、7,523万トン（同0.7%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位オーストラリア1,500万トン、2位中国1,249万トン、3位カタール654万トン、4位アメリカ521万トン、5位サウジアラビア447万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,598 万トン（前年比 5.5%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、石油製品、鉄鋼、鋼材、重油が占めました。移入貨物量は、3,210 万トン（同 4.6%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、石油製品、化学薬品、セメントが占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,879 万トン（同 3.4%増）、コンテナ個数は 259 万 TEU（同 3.9%増）とともに前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,454 万トン（同 5.9%増）、輸入は 2,424 万トン（同 1.1%増）とともに前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、完成自動車、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、輸送用容器、電気機械、家具装備品が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 620 万トン、2 位アメリカ 333 万トン、3 位タイ 175 万トン、4 位台湾 93 万トン、5 位中国（ホンコン）87 万トンです。輸入は、1 位中国 1,066 万トン、2 位アメリカ 166 万トン、3 位タイ 145 万トン、4 位ベトナム 133 万トン、5 位中国（ホンコン）127 万トンです。